■目次

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

2. 安全上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

3. 重要な警告事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

4. その他、重要な警告事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

5. すぷりんくんとは？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

6. 「すぷりんくん」のｼｽﾃﾑ概要・・・・・・・・・・・・・・・4～5

7. ｼｽﾃﾑの設計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6～8

8. 住宅用火災警報器 ・散水用ﾍｯﾄﾞの取り付け方法・・・・8～10

9. 製品使用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

10. 維持管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

すぷりんくん　取扱説明書

―お願い―

　このたびは、弊社の「すぷりんくん」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そしてこの説明書を大切に保管し、必要なときお読みください。

1.　はじめに

　この設備は、消防法に関係なく、ご使用される側の自主的考えにもとづいて設置するものです。初期の火災にすばやく作動、散水して、住んでいる人が安全な場所に逃げることができるように、そして火災による財産の損失を最小限に抑えるための設備です。

　この設備は水道管に直結する安価でシンプルな構成のうえ、今までとは違う、消火薬剤を（FA　１%）混入装置を設けています。消火性能の向上を発揮させるために、本書に従ってご使用ください。

　尚、あらかじめ所轄の水道局にご相談ください。また、必要に応じ所轄消防署との事前打ち合わせを行ってください。地域より、届出書類の提出や停滞水防止措置の確認等の指導される場合があります。

2.　安全上のご注意　必ずお守りください

　この設備は、火災に対して有効な設備ではありますが、使い方を誤ると充分な性能を発揮することが出来なくなるだけでなく、事故を引き起こす危険性もあります。特に危険性の高い事項につきまして、「（ :警告事項」「（ :注意事項」と表示しております。施工前に必ずお読みいただき、安全に配慮した使い方をしてください。

:取り扱いを誤ると、使用者がけが等を負う危険性が想定されます。

:取り扱いを誤ると、使用者が物的損害が発生することが想定されます

３．⚠ 重要な警告事項

取り付け業者様の責務として、この説明書または説明書のコピーを施主様、およびこの設備の管理者に必ずお渡しください。

施主様の責務として、この設備、及び機器が常に適切な状態となるように維持管理してください。

散水用ヘッドが設置されていない場所での出火には対応できません。

多量の可燃物や危険物により引き起こされる火勢は、非常に速い進展や広がりを見せるため、火災制御効果が充分に得られない場合があります。

水道圧力が低下したり、断水した場合には火災を制御することはできません。

火災時には、まず安全な場所に避難してください。消防隊が駆け付けた場合には、必ず消防隊の指示に従って行動してください。

4. ⚠ その他、重要な警告事項

以下のような不正な行為の後、すぐには現象が出ず、時間が経過後、突然現れることがありますので、特に注意が必要です。

イ、てんぷら油火災には適しません。
火災時、散水用ﾍｯﾄﾞの放水で油が飛び散る場合があります。

ロ、住宅用火災警報器のテスト時には、下記のとおり事前に処置をしてから行ってください。
電池・警報ﾃｽﾄを行う場合はすぷりんくんの放水配管を閉にしてください。
ﾃｽﾄ後は必ず放水配管を開に戻してください。

ハ、住宅用火災警報器や散水用ヘッドにはカーテン等で覆わないでください。

ニ、住宅用火災警報器や散水用ヘッドには塗装しないでください。

ホ、住宅用火災警報器や散水用ヘッドの清掃は、柔らかい毛のブラシ等を使用、軽くかけてください。（洗剤や化学薬品は禁物です）

ヘ、住宅用火災警報器や散水用ヘッドには物をぶつけないでください。

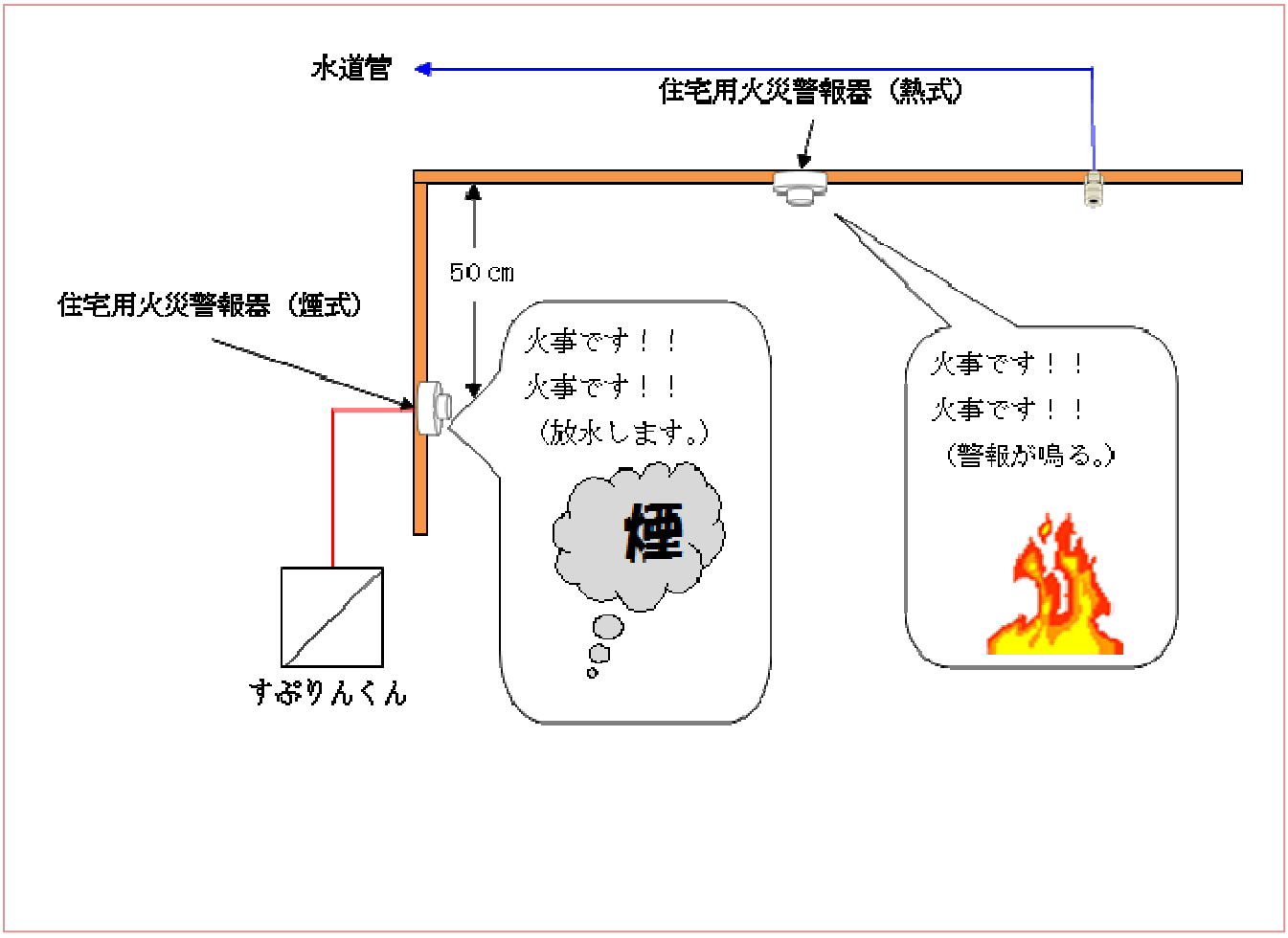
ト、間仕切りの変更および増改築を行うときは、事前に施工業者にご連絡ください。
ヘッドの取り付け位置の変更が必要な場合があります。

〇、ﾍｯﾄﾞの取り付け環境によっては「緑色の錆」が生じる場合があります。
例えば海岸付近の潮風、ﾊﾞｽﾙｰﾑ付近や脱衣所などで湯気が常に当たるような場所では特にご注意ください。
著しい錆が発生した場合には、性能に問題が生じる場合がありますので、
施工業者に連絡しﾍｯﾄﾞを交換する事をお奨めします。

〇、停止弁は常時開にしてください。停止弁を閉めると、万一火災の場合水が流れず、効果を発揮することは出来ません。

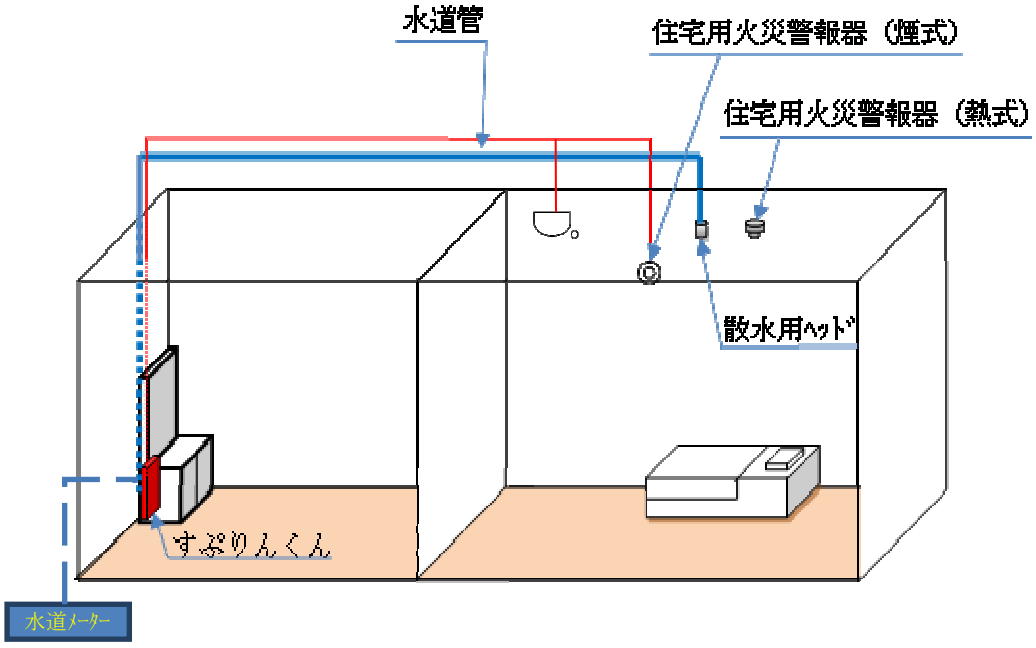
5.　すぷりんくんとは？

「すぷりんくん」は次のような機能によって、火災時に散水します。
住宅用火災警報器（煙感知式）または住宅用火災警報器（熱感知式）と散水用ヘッドが２４時間お部屋を監視致します。散水用ヘッドは、火災時の発生した煙または熱に反応して住宅用火災警報器（煙感知式）が作動し、連動して常時閉鎖されていた水道が、約２分間解放され、消火薬剤混入水が散水されます。（約 6ℓ×2 分＝12ℓが放水される。）
消火が遅れた場合とか、　７５℃以上の熱を感知した場合は、住宅用火災警報器（熱感知式）が作動し、消火薬　剤混入水が続いて散水されます。（消火薬剤は無害です。）
※住宅用火災警報器（煙・熱感知史記）の警報が止まると同時に散水も停止します。



6.　「すぷりんくん」のシステム概要

システム構成図



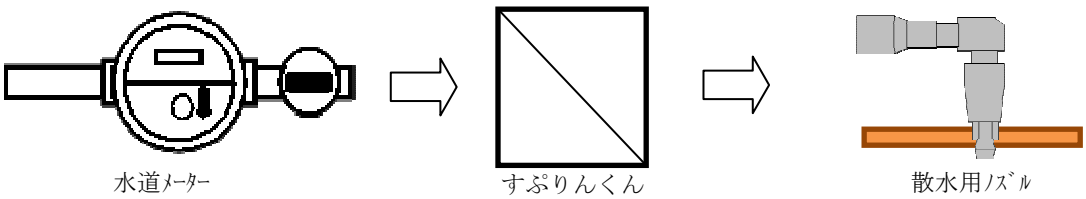
このシステムは、水道管に直結し、一般住宅向けの安価でシンプルな構成としています。火災時に性能を充分発揮させるために、本書の沿って機器の配置及び取り付け等を行ってください。尚、停滞水防止策として、自動排水弁を設けています。

⚠ 散水用ヘッドの放水圧力の確保と、停滞水が生じないような設計・施工を行ってください。

⚠ 水道水以外は使用しないでください。

基本的な配管系統図（5ﾍﾟｰｼﾞ図参照）

水道メーター ⇒ すぷりんくん ⇒ 散水用ヘッド



⚠ 水道ﾒｰﾀｰは、給水圧力を確保するために「呼び 20Ａ以上」のものを使用してください。

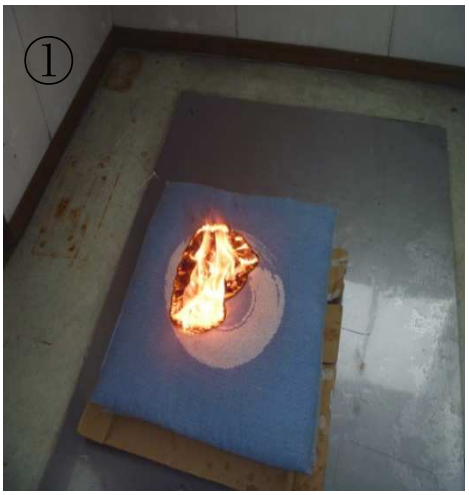
⚠ 急激な給水の開閉するもの（洗濯機）には設備配管を接続しないでください。

配管内にｳｫｰﾀｰﾊﾝﾏｰが発生する原因となり、異常音の発生や配管機器類に悪影響を及ぼす恐れがあります。

※「すぷりんくん」一台につき散水用ヘッドは床面より 3 メートル以下の高さで、水平面に２個まで取り付け可能です。一部屋 10 平米までは絶大な効果が期待できます。

火災におけるシステム作動フロー

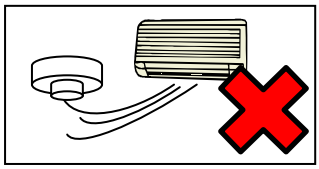
火災発生 ⇒ 住宅用火災警報器（煙・熱）作動 ⇒ 散水 ⇒ 火災抑制



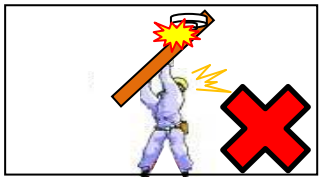
7.　システムの設計

イ.「すぷりんくん」本体の設置場所はトイレ内もしくは洗面所内の微小範囲とし、止水弁のあるところが望ましい。（9ﾍﾟｰｼﾞ「すぷりんくん」設置図参照）

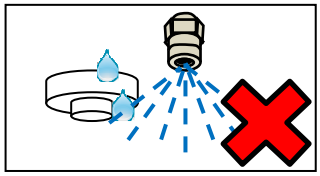
ロ. 周囲温度が 38℃を超える場所、照明器具やエアコンの吹き出し口の近くや、
バスルームや脱衣所のように、結露の発生しやすいところには設置できません。



ハ. 散水用ﾍｯﾄﾞや住宅用火災警報器は、扉の開閉や荷物の収納等により、接触・衝突しない場所に設置してください。散水用ﾍｯﾄﾞの脱落やご放出事故の原因となります。



ニ. 散水用ﾍｯﾄﾞは住宅用感知器（煙・熱）が散水に当たらない場所に設置してください。



⚠ てんぷら油火災には適しません。
放水の際に、油が飛び散る場合があります。

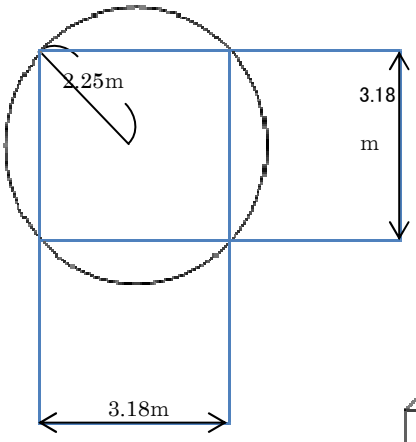
7. ﾍｯﾄﾞの配置

イ、ヘッドを有効に配置するには、ヘッドを中心に「半径 2.25mの円」を描き、部屋内の各部分を防護することと、ヘッドはできるだけ部屋の中央に配置するようにしてください。そのために照明器具の配置や機種の選択などについては、事前に充分ご検討ください。

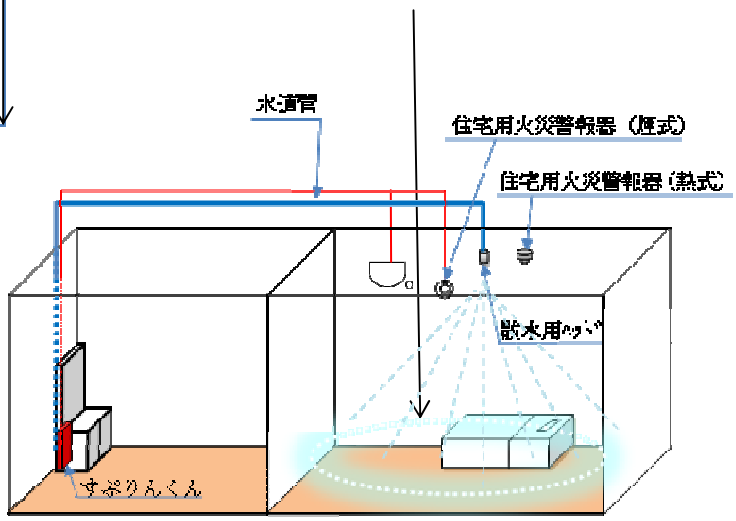
ロ、尚、「すぷりんくん」は散水用ﾍｯﾄﾞに制限があります。(1 体につき 2 個まで)
室内の大きさよっては十分に放水が行き届かない恐れがあります。
2 個設置する時は、ﾍｯﾄﾞ相互間の距離が 1.6m以上、3.2m以下となるように配置してください。

ハ、天井 0.4m以上の下がり壁がある場合は、下がり壁で仕切られた区画ごとにﾍｯﾄﾞの設置をお勧めします。下がり壁等で仕切られた区画内にﾍｯﾄﾞを設けらない場合は、火災による熱を有効に感知できない恐れがあり、また角ﾍｯﾄﾞの散水性能にも障害が発生します。

ﾉｽﾞﾙ１個につき可能な防護範囲



部屋の中央に配置する事で防護範囲は
最大になります。（10 ㎡）



7、散水障害

イ、照明器具等の障害物がある場合、散水障害とならない距離隔ててﾍｯﾄﾞを配置するようにするか、有効に散水できない状態であれば、障害物の反対側にもﾍｯﾄﾞを設置してください。障害物があると、火災時に十分な火災抑制効果が得られません。

ロ、障害物とﾍｯﾄﾞの間隔を 0.3m以上離してください。障害物があると、火災時に十分な火災抑制効果が得られません。

ハ、ﾍｯﾄﾞは原則として屋内の水平天井面の平らな部分に垂直下向きに設置してください。傾斜天井面への設置、または吊下式の格子飾り天井などがある場合ﾍｯﾄﾞの感知性能や散水効果が十分に得られない恐れがあります。

7、給水圧力

イ、ﾍｯﾄﾞの最低使用出力（放水時に 0.05Mpa 以上が必要）の確保に留意して配管・施工を行ってください（ｵﾌﾟｼｮﾝで末端ﾉｽﾞﾙもご用意できます）。水道圧力が低下したり、断水したりした場合には、火災時に正常な効果が得られません。

ロ、水道圧力が、この設備の必要給水圧力以上とならない場合には、以下のように配管の引き回しの変更や水槽等による水源の確保、加圧送水装置の利用を検討してください。

① ﾍｯﾄﾞの設置場所を変更する。(配管効率の良い位置に移動する。)
② ﾍｯﾄﾞ設置個数を減らす。(火災発生の危険性の高い場所のみに設置する。)
③ 配管ﾙｰﾄを短くする。(現状の設計配管ﾙｰﾄより短くする。)
④ 配管から分岐する給水配管径を増径する。

ハ、水道ﾒｰﾀｰは給水圧力を確保するために呼び 20A 以上のものを使用してください。

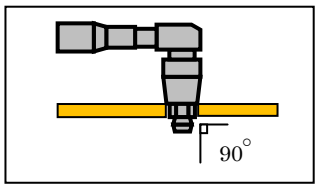
8. 住宅用火災警報器や散水用ヘッドの取り付け方法

イ. 施工手順

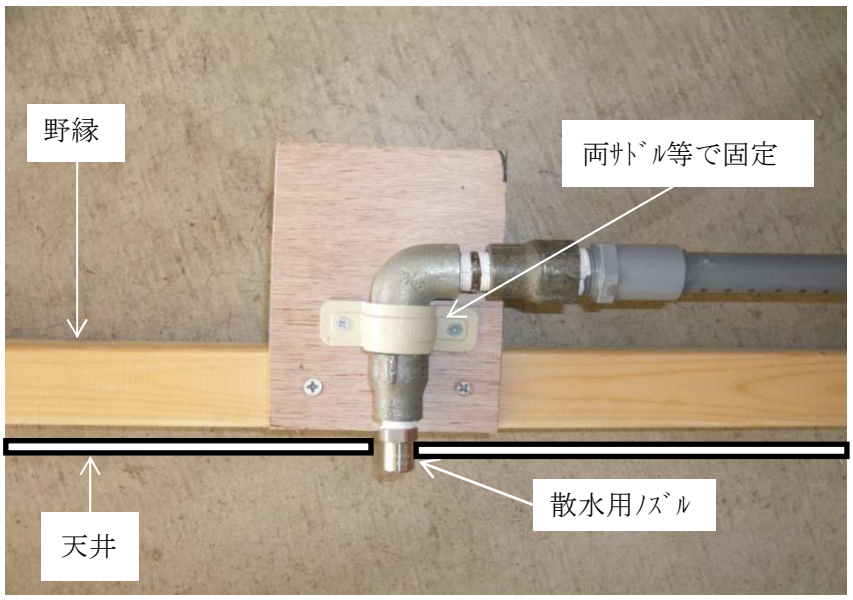
① 下地材の施工 (大工工事)
下地材は天井野縁の下端を目安として 1 ㎜程度を高い位置に取り付ける。

② 継手の取り付け
天井仕上げ面(仕上げボード面)を目安として、散水用ヘッドの露出部が規定の〇〇㎜になるよう両サドルで強固に固定する。(水道工事店の施工)

③ 散水用ﾍｯﾄﾞは水準器等を利用して水平に取り付けしてください。



(!) 配管の取り付け高さのバラツキが無いように注意する。(特に、ヘッドを二個の場合)

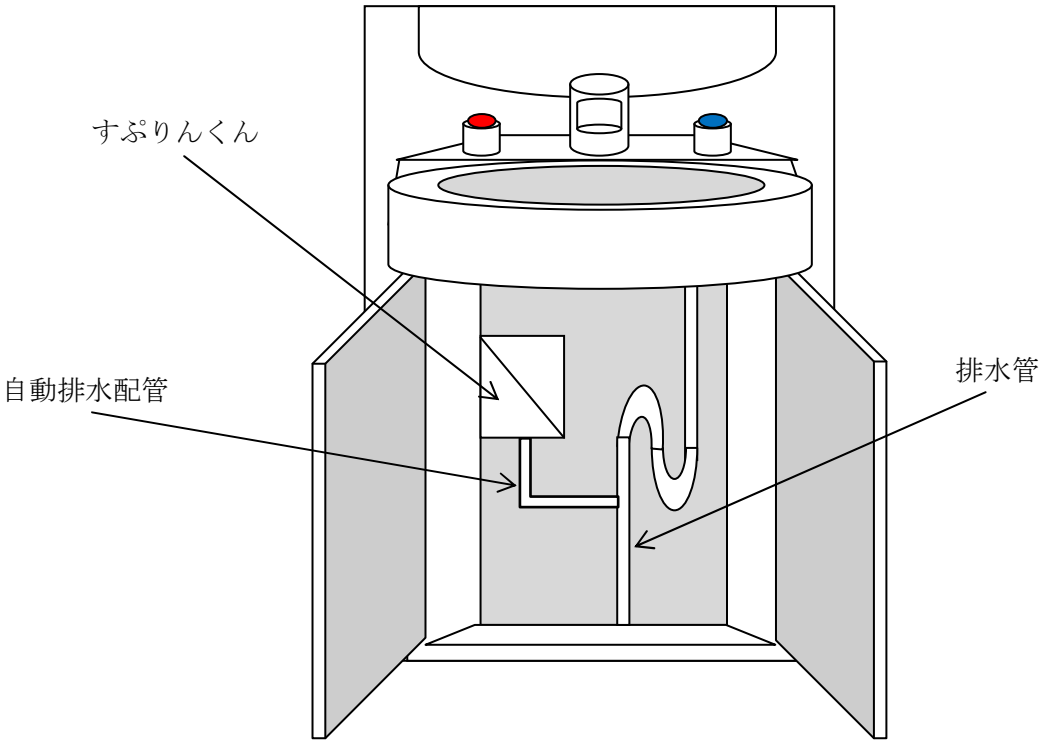


③　配管の施工（水道工事）…洗面台

・洗面台のｷｬﾋﾞﾈｯﾄ内にすぷりんくんを設置します。
（378mm×278mm×130mm以上の空間が必要です。）
・停滞水の排水官を水道排水官に繋げます。
・すぷりんくんに水道配管、散水用ﾍｯﾄﾞ配管の通路をつなげます。
（塩ビ配管（内径 13mm）を使用してください。）

! 配管接続時や配管の高さ調節の際には、散水用ﾉｽﾞﾙがずれないようにしてください。

継手部分の防露対策を忘れないでください。



図○　「すぷりんくん」設置図

ハ.　施工手順　（取り付け上の警告　・　注意事項）

① ﾍｯﾄﾞを取り付ける前に必ず、ここに記載した「警告・注意事項」をよくお読みになり、十分に理解してから施工してください。
② ﾍｯﾄﾞ取付けﾈｼﾞ部にｼｰﾙﾃｰﾌﾟを 3 巻き程度巻き、必ず専用ﾚﾝﾁを使用して継手にねじ込んでください。
③ 締めこむ際は脚立等の足場に注意してください。

! 継手への締め込みすぎに注意してください。締め込みすぎは漏水の原因になります。継手と散水用ﾍｯﾄﾞ本体の間には、隙間をもうけてください。
締めこむ際はｼｰﾙﾃｰﾌﾟを使用してください。

ⓘ住宅用火災警報器を設置する時、下記の事に注意してください。

〇、扉の開閉等で接触・衝突しない場所に設置してください。
〇、散水用ﾉｽﾞﾙの放水が当たらない場所に設置してください。
〇、エアコン等気流の発生する場所に設置しないでください。

9.　製品仕様

イ．散水用ﾍｯﾄﾞ

ﾒｰｶｰ	㈱いけうち
名称	1/4MBBXPC60S303
圧力	0.2ＭＰａ
噴角	120°
噴量	6　ℓ/ｍ（1 分間に 6 ﾘｯﾄﾙ）
材質	ｽﾃﾝﾚｽ

ロ．　住宅用火災警報器

移報接点：DC30V 0.5A 以下
電池寿命：約 10 年（年 2 回の動作試験を行った場合、使用条件等によって短くなる場合があります。）
警報停止機能：引きひもを引くか警報停止ﾎﾞﾀﾝを押すと警報が停止します。（火災時に警報停止行った場合、約 5 分間警報が停止します。）
自動復旧機能：煙・熱がなくなると自動的に警報が停止します。

ﾒｰｶｰ	松下電工	〃
品名	けむり当番 薄型 2 種（電池式・移報接点付）	ねつ当番 薄型 定温式（電池式・移報接点付）
品番	SH38453K	SH38153K
型式	鑑住第 20～33 号	鑑住第 20～30 号
種類	光電式 2 種	定温式(特殊 65℃相当)

10. 維持管理

イ.　1 年に 1 回ﾃｽﾄを実施してください。

ロ.　住宅用火災警報器の充電池及び、すぷりんくんの乾電池を 5 年に 1 回目安で取替
　　又、定期点検時で電池切れの結果がでた時も同様に取替を行ってください。

ハ、　消火薬剤は 5 年に 1 回取替を行ってください。